

บรรณานุกรม
ภาษาศาสตร์เปรียบเทียบ: ไทย-ญี่ปุ่น

日本語とタイ語の対照研究
文献目録

ผู้ช่วยศาสตราจารย์ ดร. วรุฒิ จิราสมบัติ
สาขาวิชาภาษาญี่ปุ่น ภาควิชาภาษาตะวันออก
คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

ウォラウット・チラソンバット
チュラロンコン大学文学部
東洋言語学科日本語講座

บรรณานุกรม
ภาษาศาสตร์เปรียบเทียบ: ไทย-ญี่ปุ่น

日本語とタイ語の対照研究
文献目録

สารบัญ 目次

		หน้า	ページ
คำนำ	前書き	1	
คำอธิบาย		2	
ภาพรวม	総論	3	
เสียง	音	3	
คำ	語彙	4	
ไวยากรณ์	文法	6	
ภาษาศาสตร์สังคม	社会言語	10	
การเรียนการสอนภาษา	日本語教育	12	
บรรณานุกรม	参考文献	15	

คำนำ

บรรณานุกรมเล่มนี้จัดทำขึ้นเพื่อรวบรวมว่ามีองค์ความรู้เรื่องการศึกษาเปรียบเทียบภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นอยู่เพียงใดเพื่อการศึกษาในด้านนี้จะได้นำมาขึ้น ในการเรียบเรียงได้จัดเป็นหัวข้อทางด้านภาษาศาสตร์เปรียบเทียบไทย-ญี่ปุ่นดังนี้คือ ๑ ภาพรวม ๒ เสียง ๓ คำ ๔ ไวยากรณ์ ๕ ภาษาศาสตร์สังคมและ ๖ การเรียนการสอนภาษา เพื่อความสะดวกของผู้สืบค้นจึงได้พิมพ์งานที่มีลักษณะร่วมหลายหัวข้อตามหัวข้อที่เกี่ยวข้องทุกหัวข้อ (cross-classification)

ผู้รวบรวมขอขอบคุณสถาบันวิจัยภาษาแห่งชาติ ประเทศญี่ปุ่นที่ออกค่าใช้จ่ายให้ผู้เขียนไปรวบรวมข้อมูลที่ประเทศญี่ปุ่นตั้งแต่วันที่ ๒๓ ถึง ๓๑ มีนาคม ๒๕๔๓ และโครงการนี้ได้รับทุนวิจัยจากทุนรัชดาภิเษกสมโภช ประเภททุนพัฒนาอาจารย์/นักวิจัยใหม่โดยมีรองศาสตราจารย์ ดร.อมรา ประสิทธิ์รัฐสินธุ์เป็นอาจารย์ที่เลี้ยง

และขอขอบพระคุณผู้ช่วยศาสตราจารย์ ดร.รัชณี ปิยะมาวดีที่ให้ยืมเครื่องคอมพิวเตอร์ในการพิมพ์ขอขอบพระคุณคุณอาจารย์ ดร.กนกวรรณ เลหาบูรณะกิจที่ให้คำแนะนำในการจัดทำและขอขอบคุณภาควิชาภาษาตะวันออก คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัยที่ให้การสนับสนุน

วรุณี จิราสมบัติ

มีนาคม ๒๕๔๔

まえがき

この日本語とタイ語の対照研究文献目録は総論、音、語彙、文法、社会言語、日本語教育、六つに分かれている。一つ以上の分野に関係する場合関係する分野のすべてに載せる。

国立国語研究所の招聘研究員の期間（9日間）を利用して、調査をした。ここで 国立国語研究所の感謝の意を表す。作成に当たってラッチャニー先生、カノックワン先生及びチュラロンコン大学文学部東洋言語学科に感謝する。

ウォラウット・チラソンバット

平成13年3月

คำอธิบาย

ผู้รวบรวมเห็นว่าปัจจัยหนึ่งที่จะส่งเสริมการวิจัยให้ทำได้ดีขึ้นคือการรวบรวมผลงานที่มีอยู่แล้ว เนื่องจากทำให้ทราบว่ามีการศึกษาเรื่องใดในจำนวนเท่าใดอันจักทำให้มีการวิจัยต่อเนื่องลึกซึ้งขึ้น หรือช่วยให้มีการศึกษาในแนวอื่นตลอดจนศึกษาเพิ่มเติมในเรื่องที่ยังไม่มีหรือมีการศึกษาน้อย โดยที่ยังไม่มีใครจัดทำบรรณานุกรมงานวิชาการในด้านการเปรียบเทียบภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่นมาก่อนทั้งๆที่มีการศึกษาด้านนี้มาไม่น้อยกว่า ๕๐ปี จึงมีความจำเป็นที่จะต้องจัดทำขึ้นเพื่อให้เกิดความก้าวหน้าทางวิชาการ

ในการรวบรวมนี้ใช้การค้นเอกสารต่างๆได้แก่ วารสาร และหนังสือในห้องสมุด และห้องอ้างอิงต่างๆในประเทศและที่ประเทศญี่ปุ่น นอกจากนี้ยังได้สอบถามจากนักวิชาการบางท่านโดยตรงถึงงานที่ท่านทำด้วย

ผู้รวบรวมได้จัดงานออกเป็น ๖ กลุ่มตามเนื้อหาดังนี้

๑ ภาพรวม

๒ เสียง

๓ คำ

๔ ไวยากรณ์

๕ ภาษาศาสตร์สังคม

๖ การเรียนการสอนภาษา

กลุ่มที่ ๑ รวบรวมผลงานต่างๆไปเกี่ยวกับการเปรียบเทียบภาษาไทยกับญี่ปุ่น ส่วนงานกลุ่มที่ ๒-๖ เป็นงานที่ศึกษาเฉพาะเรื่อง เพื่อความสะดวกของผู้สืบค้นจึงได้พิมพ์งานที่มีลักษณะร่วมหลายหัวข้อตามหัวข้อที่เกี่ยวข้องทุกหัวข้อ (cross-classification)

ภาพรวม 総論

ทศโระ โมริยามะ, 2543, ภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่น: จากประเทศญี่ปุ่นที่ลมแห่งฤดูใบไม้ร่วงกำลังพัด,
ญี่ปุ่นสาร 24/25, มุลนิธิญี่ปุ่น

「タ」

田中寛 1997 「日タイ語対照研究序説—その方法論・経緯・展望について—」 『言語教育フォーラム』 創刊号 大東文化大学語学教育研究所

田中寛 2001 『対照言語学的手法・視点にもとづくタイ語と日本語の基本語彙・基本文型に関する比較研究』 大東文化大学

「ト」

富田竹二郎 1979 「タイ語と日本語」 『日本語教育』 39

「ミ」

峰岸真琴 1990 「タイ語と日本語」 『講座日本語と日本語教育』 第22巻
明治書院

「ヨ」

吉川敬子 1992 「対照研究・タイ語編」 月刊『日本語』 1 アルク出版

吉川敬子 1992 「対照研究・タイ語編」 月刊『日本語』 2 アルク出版

เสียง 音

「ア」

東次成 1986 「タイ人留学生の捉えた日本語の発音との関係において」
『天理大学別科日本語課程紀要』 1

「ウ」

植田栄子 1995 「タイ語母語話者の日本語アクセントの知覚および生成の特徴—効果的な音律教育に向けて—」 『日本語教育学会春季大会発表予稿集』

植田栄子 1996 「タイ語平叙文における音律ルール—日本語との対照をふまえて—」 『日本語教育学会春季大会発表予稿集』

「オ」

大西晴彦 1981 「タイ語の擬音語」 『日本語学』 68

大西晴彦 1983 「日本語とタイ語における擬音語の比較対照」 『国際学友会日本語学校紀要』 7

「シ」

シリラック・ダンワーニच्छัคกร 『タイ語話者の日本語学習におけるアクセントの問題点』 筑波大学修士論文

「ス」

- 鈴木忍 1963 「発音指導とその問題点—タイ語国民を中心に—」 『日本語教育』 2
鈴木忍 1974 「外国人からみた日本語—東南アジアについて—」 覆刻文化庁国語シリーズV 『外国語と日本語』 教育出版
鈴木忍 1976 「タイ人の発音に関する若干の考察」 『国際学友会日本語学校紀要』 1
鈴木忍 1978 「タイ人の発音に関する若干の考察」 『国際学友会日本語学校紀要』 2
鈴木忍 1982 「タイ人用日本語発音練習教材について」 『国際学友会日本語学校紀要』 6
スチャータ・P 1988 「私の日本語聴解の困難」 『日本語教育』 64

「テ」

- 寺川喜四男 1945 「大東亜諸言語の発音と日本語の発音との比較」 『大東亜諸言語と日本語』 大堂出版
寺川喜四男 1945 「留日南方留学生の発音する日本語」 『東亜日本語論—発音の研究』 第一出版株式会社出版

「ハ」

- ハッカヤーノン・チャトゥロン 1997 『タイ人学習者における日本語音律の習得研究』 大阪大学修士論文

「マ」

- 益子幸江・桐谷滋 1992 「日本語学習者におけるモーラ音素の習得について」 『日本語教育学会創立30年記念大会予稿集』

「ム」

- 村崎恭子 1978 「アジア留学生の日本語のクセ」 『言語生活』 322

「ワ」

- ワライポーン・ヌアサニットラッチ 1993 『タイ人の日本語の音調のかたより』 名古屋大学修士論文

คำ 語彙

- บรรตรี มณีพงษ์, 2540, คำยืมภาษาอังกฤษในภาษาไทยและในภาษาญี่ปุ่น, ศาสตรแห่งภาษา ฉบับที่ 9
รวมภาคนิพนธ์ สิงหาคม 2540, ภาควิชาภาษาศาสตร์ คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย
ปิยะจิต ทาแดง, 2525, การใช้ไวยากรณ์เป็นสำนวนพูดในภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่น, ไทย-ญี่ปุ่นศึกษา ปีที่ 4
ฉบับที่ 2
สร้อยสุดา ณ ระนอง, 2542, การศึกษาคำลงท้าย yo, ne ในภาษาญี่ปุ่นกับคำลงท้าย "นะ" ในภาษาไทย
วารสารมูลนิธิญี่ปุ่นกรุงเทพฯ, 3
วรุณี จิราสมบัติ, 2541, สารพัดศัพท์, Anone ปีที่ 7 ฉบับที่ 27, สมาคมนักเรียนเก่าญี่ปุ่น

「ア」

アッチャラー・セリーパンパーニット 1994 『日・タイ語の発話動詞の対照研究「言う、話す、しゃべる、述べる、語る」と「phû:t, khui, bò:k, klà:u」』 国際基督教大学修士論文

「オ」

大西晴彦 1981 「タイ語の擬音語」 『日本語学』 68

大西晴彦 1983 「日本語とタイ語における擬音語の比較対照」 『国際学友会日本語学校紀要』 7

「カ」

片桐準二 1995 『<味を表す言葉>の日本語タイ語対照研究』 国際基督教大学卒業論文

カノックポーン・ケエンチャック 1989 「タイ語と日本語の人物呼称の用法に関する対照研究」 『待兼山論叢』 23 大阪大学

カノックポーン・ケエンチャック 1991 「呼称」の対照研究—タイ語— 『日本語学』 9月

「サ」

坂本比奈子 1988 「日本語の動詞/行く・来る/とタイ語の/paiとmaa/」 『麗澤大学紀要』 47

坂本比奈子 1991 「語彙の対照研究—日本語とタイ語の移動表現」 『国文学解釈と鑑賞』 56、1

「ス」

スチャダー・ブサヨク 1977 『受給表現「(て)やる、くれる、もらう」について—日本語とタイ語の対照研究』 大阪大学修士論文

田中寛 1998 「接続表現をめぐる日タイ語対照研究」 『講座日本語教育』 33

タナットスィー・ヨックナウット 1993 『「ようやく」「やっと」「ついに」とタイ語との用法』 慶応義塾大学修士論文

「ホ」

堀江インカピロム・プリーヤー 1995 「日本語とタイ語の比較に見る、もったいない”惜しい”、残念だ”の意味・用法」 『坂田雪子先生古稀記念文集』 坂田雪子先生古稀記念文集刊行委員会編 三省堂出版

「ヤ」

安田美絵 2000 「日本語の「親切」とタイ語の「チャイディ」との違いについて」 『国際交流基金バンコック日本語センター紀要』 3

山本忠行 1986 「ていく、てくる」と「pai, maa」の対照研究」 『創価大学別科紀要』 2

山本忠行 1988 「「ところ」と thi (thi) めぐって」 『創価大学別科紀要』 3

山本忠行 1991 「日本語オノマトペのタイ語翻訳の可能性と限界 (1)
『窓ぎわのトットちゃん』をめぐって」 『創価大学別科紀要』 5

山本忠行 1992 「日本語オノマトペのタイ語翻訳の可能性と限界 (2)
『窓ぎわのトットちゃん』をめぐって」 『創価大学別科紀要』 6

「ワ」

ワーサナー・ウィーラパーブック 1995 「日・タイ指示詞の対照研究 日本
言語文化研究会水谷信子先生退官記念号」 『言語文化と日本語教育』 9
お茶の水大学

ワーサナー・ウィーラパーブック 1995 『日・タイ指示詞の対照研究—
「コ・ソ・アの誤用分析を中心に」』 お茶の水女子大学修士論文

Chirasombutti, Voravudhi, 1997

"Some Observations on the History of Self-reference Pronouns in Japanese", *บูรพคดี,*
จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

ไวยากรณ์ 文法

บุษบา บรรจงมณี, 2543, Volition ของคำกริยาในประโยคกรรมวาจกในภาษาญี่ปุ่นและภาษาไทย, *วารสาร
มูลนิธิญี่ปุ่นกรุงเทพฯ*, 3

วรุณี จิราสมบัติ, 2544, ความสัมพันธ์ระหว่างความเป็นกรรมและกรรมวาจกในภาษาญี่ปุ่น, *วารสาร
มูลนิธิญี่ปุ่นกรุงเทพฯ*, 4

สมเกียรติ เขวงกิจวัฒน์, 2543, อนุภาคย่อกุณศัพท์ชนิด "ไม่เจาะจง" (Non-restrictive) ในภาษาญี่ปุ่นและ
ภาษาไทย, *วารสารมูลนิธิญี่ปุ่นกรุงเทพฯ*, 3

「ア」

綾部裕子 1982 「日本語とタイ語における「時間」の諸相」 『筑波大学言
語文化論集』 12

アンパーポン・アッチャワピเชตัม 1983 『日・タイ両語における使
役表現の対照研究』 東京外国語大学修士論文

「ウ」

ウォラウット・チラソンบัต 1989 『日本語とタイ語の受け身表現の対
照研究』 筑波大学修士論文

「エ」

江田すみれ 1981 「変化を表す表現のタイ日両語の比較」 『日本語教育』
45

江田すみれ 1983 「<てやる、てくれる、もらう>とタイ語の表現—hây
の用法に注目して—」 『日本語教育』 49

「カ」

カモンオーン・コーモンワニック 1991 『名詞述語文の日・タイ対照研究』 大阪大学修士論文

カモンオーン・コーモンワニック 沢田奈保子 1993 「名詞述語文の日・タイ対照研究—認知語用論的観点から—」 『言語研究』 103

カノックワン・ラオハブラナキット 1994 『「疑問文文末表現の日・タイ対照研究—「カ」「ノカ」「mǎj」「ruǐ:plàw」「ruǐ:」を中心に』 筑波大学修士論文

カノックワン・ラオハブラナキット 1994 「疑問文文末表現の「ノカ」「ruǐ:」「ruǐ:plàw」について『筑波大学応用言語学研究』

カノックワン・ラオハブラナキット 1999 『「疑問文文末形式」の研究—日本語とタイ語の対照』 筑波大学博士論文

カンラヤニー・シタスワン 1977 『受動表現比較研究—タイ語と日本語』 東京外国語大学修士論文

「ゲ」

源及翔子 1991 「日タイ語対照比較研究ノート：二つの動作並列をあらわす言い方」 『火炎樹』 3号 火炎樹の会

「サ」

坂本恭章 1979 「助詞対照用例集(1)「の」」(特定研究) 『諸語と日本語の学習』 78-8 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

佐藤博史 1980 「日タイ語における格の対照研究」 『日本語・日本文化』 9 大阪外国語大学留学生別科

佐藤博史 1981 「タイ語との対照」 『格表現の対照—日本語教育のために—』 大阪外国語大学留学生別科

サワリー・ワッタナチョンコン 1977 『日・英・タイ語仮定条件の表現—順接関係の対照研究』 大阪大学修士論文

「ス」

スチャダー・ポンタンヤウィリヤー 1987 『日本語とタイ語の受身表現の対照研究』 筑波大学修士論文

スチャダー・ブサヨク 1977 『受給表現「(て)やる、くれる、もらう」について—日本語とタイ語の対照研究』 大阪大学修士論文

スマリー・チョンラタナクン 1986 『日本語とタイ語の上下移動動詞の比較対照』 慶応義塾大学修士論文

「ソ」

ソイスター・ナラノー 1987 『日本語とタイ語の時の表現に関する比較対照(する)(した)と(cà)(dâi)(lǎ:w)を中心に』 慶応義塾大学修士

¹ไม่สามารถสืบค้นว่านามสกุลผู้เขียนอ่านว่าอย่างไรจึงอ่านโดยการสันนิษฐาน

論文

ソムキャット・チャウエンギットワニット 1996 『日本語・タイ語における指示詞と三人称代名詞—書きことばを中心に』 筑波大学修士論文

「タ」

田中寛 1991 「タイ語形容詞の意味と構文—日本語との対照—」 『言語と文化』 4 立教大学文化研究所

田中寛 1993 「タイ語の目的格表現—目的と結果の意味的な構成—」 『言語と文化』 5

田中寛 1997 「授受表現における日タイ語対照研究—〈現象的理解〉から〈場面的理解〉へ—」 『講座日本語教育』 32

田中寛 1997 「タイ語受動文の意味と機能—表現意図からみた用法の考察—」 『語学教育研究論集』 14 大東文化大学語学研究所

田中寛 1999 「日本語格助詞に対応するタイ語前置詞—「ヲ」格、「ニ」格、「デ」格との対応—」 『講座日本語教育』 34

田中寛 1999 「タイ人に見られる受動文の許容認識—日本語との対訳比較を通して—」 『講座日本語教育』 35

高橋清子 1991 『タイ語と日本語—〈sì〉、〈ná〉と〈よ〉、〈ね〉の対照研究』 大阪大学卒業論文

「チ」

チュラーラット・プラサートディ 『日本語における（の）、（こと）とタイ語における（ka:n）（kwa:m）（wâ:）の比較対照』 筑波大学修士論文

「ツ」

角田太作 1991 『世界の言語と日本語』 くろしお出版

「ド」

ドアンチャイ・ロータナワニット 1991 『日・タイ擬態語比較対照研究』 慶応義塾大学修士論文

「ニ」

ニラモン・タンティパンワディー 1982 『日・タイ語における（〜いく）（〜くる）と（pay）（mo）の比較対照』 筑波大学修士論文

「ハ」

パンセク・アトントゥラスク 1999 「日タイ語の再帰代名詞の対照研究「自分」とtua?εεη」 『国際交流基金バンコックセンター紀要』 2

パウィーナー・ドゥアンウドム 1989 『日・タイ両言語における使役表現の対照研究』 筑波大学修士論文

パッタラワン・ユーエン 2001 「受益文におけるタイ・日本語の対照研究」 『国際交流基金バンコック日本語センター紀要』 4

「フ」

プリーヤー・インカーピロム 1978 『日本語とタイ語の対照研究テンス、

アспект』 東京外国語大学修士論文
ブッサバー・バンチョンマニー1983『日本語タイ語における人称代名詞
の対照研究』 東京外国語大学卒業論文
ブッサバー・バンチョンマニー1999『動詞の意志—タイ語・日本語の対
照研究をめぐって』 東京外国語大学博士論文
プラパー・セーントーンズック1992『日本語とタイ語の文末接辞の対
照—日本語の「ネ」とタイ語の/ná/を中心に』 筑波大学修士論文

「ホ」

堀江インカピロム・プリヤー1994「タイ語の依頼表現」『日本語学』
14-11

「ミ」

三上直光1984「タイ語の使役文の意味的特徴について」『慶應義塾大学
言語文化研究所紀要』16

ミンミット・ニラタワット1978「受け身と使役の表現の日、タイ、英語
の対照研究」 大阪大学修士論文

ミンミット・ニラタワット1980「受け身と使役の表現の日、タイ、英語
の対照研究」『日本語教育』40

「ヤ」

山本忠行1986「「ていく、てくる」と「pai, maa」の対照研究」『創価
大学別科紀要』2

山本忠行1988「「ところ」とที่ (thii) をめぐって」『創価大学別科紀
要』3

「ヨ」

吉川武時1978「日本語とタイ語の使役表現をめぐる調査報告」『東京外
国語大学附属日本語学校論集』5

「ラ」

ラッターワン・スィブラーントーン1991『日本語の「気」とタイ語の
「cai」の慣用句との比較』 慶應義塾大学修士論文

ラッチャニー・ピヤマーワディー1981『日・タイ語のテンスとアスペク
トの対照及び教授法に関する一考察』 筑波大学修士論文

ラッチャニー・ピヤマーワディー1981「日、タイ両語におけるテンスと
アスペクトの比較対照—<〜ル><〜タ><〜シテイル><〜シテイタ>
について」『日本語教育』44

ラッチャニー・ピヤマーワディー1992『日本語とタイ語のモダリティの
対照研究』 筑波大学博士論文

「ワ」

ワーサナー・ウィーラパーズック1995『日・タイ指示詞の対照研究—
「コ・ソ・アの誤用分析を中心に」』 お茶の水女子大学修士論文

ワーサナー・ウィーラパーズック1995「日・タイ指示詞の対照研究日本

言語文化研究会水谷信子先生退官記念号 『言語文化と日本語教育』 9
お茶の水大学
ワンペン・スィリラックサーサック 1994 『日・タイ両語におけるやりも
らい表現の対照研究』 お茶の水女子大学修士論文

ภาษาศาสตร์สังคม 社会言語

ทศย์รัตน์ ทรพรพสุ, 2543, *สำนวนการให้คำแนะนำ: เปรียบเทียบภาษาญี่ปุ่น-ไทย*, วิทยานิพนธ์มหาบัณฑิต,
มหาวิทยาลัยธรรมศาสตร์

บวรศรี มณีพงษ์, 2540, *คำยืมภาษาอังกฤษในภาษาไทยและในภาษาญี่ปุ่น*, ศาสตร์แห่งภาษา ฉบับที่ 9
รวมภาคนิพนธ์ สิงหาคม 2540, ภาควิชาภาษาศาสตร์ คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

วรุณี จิราสมบัติ, 2539, *ภาษาและวัฒนธรรม*, Anone ปีที่ 6 ฉบับที่ 21, สมาคมนักเรียนเก่าญี่ปุ่น

วรุณี จิราสมบัติ, 2540, *ภาษาและวัฒนธรรม*, Anone ปีที่ 6 ฉบับที่ 23, สมาคมนักเรียนเก่าญี่ปุ่น

วรุณี จิราสมบัติ, 2541, *ภาษาและวัฒนธรรม*, Anone ปีที่ 7 ฉบับที่ 26, สมาคมนักเรียนเก่าญี่ปุ่น

「ア」

綾部裕子 1990 「日本とタイの諺における動物のイメージ」 『筑波大学地
域研究』 8

綾部裕子 プラサート・ヤムクリンフング 1992 「諺の日タイ比較一親子
と女について一」 『言語文化研究』 13 筑波大学

「ウ」

ウォラウット・チラソンバット 藤村知子 1988 荻野綱男編 「比喩からみ
た日本語と外国語」 『日本語の構造』 筑波大学

「カ」

カノック・シンカーリン 1993 『日本語とタイ語の挨拶表現』 慶応義塾
大学修士論文

カノックポーン・ケエンチャック 1989 『日本語とタイ語の話しことばに
おける人物呼称体系の社会言語学的研究』 大阪大学修士論文

カノックポーン・ケエンチャック 1989 「タイ語と日本語の人物呼称の用
法に関する対照研究」 『待兼山論叢』 23

カノックポーン・ケエンチャック 1991 「「呼称」の対照研究一タイ
語一」 『日本語学』 9月

カノックワン・ラオハブラナキット 1995 「日本語における「断り」一
日本語教科書と実際の会話との比較一」 『日本語教育』 87

カノックワン・ラオハブラナキット 1997 「日本語学習に見られる断りの
表現一日本語母語話者と比べて一」 『世界の日本語教育』 7 国際交流基
金日本語国際センター

「キ」

キッティ・ブラサートスック 1994 『日・タイ断り表現の対照』 慶応義塾大学修士論文

「コ」

国立国語研究所 2000 「日本語と外国語との対照研究VIII 『マイペンライ(2) : タイ人の言語行動を特徴づける言葉とその文化的背景についての考察 その2』 国立国語研究所

「シ」

シャダーポーン・チャンプラサート 1994 『日本語の他称表現』 慶應義塾大学修士論文

「ス」

ススイラートリスパーパチャイクル 1998 『日タイテレビ CMの言語使用に関する研究』 東京外国語大学修士論文

スチャダー・サッタヤポン 1984 『英語の借用語に対する意識調査日・タイ大学生の対照研究』 大阪大学

「ホ」

堀江インカピロム・プリヤー 1990 「日タイのあいさつ表現からみた社会文化価値観の違い」 『日本語教育』 72

堀江インカピロム・プリヤー 1991 「日本人とタイ人の伝達行動の違いについて」 『日本語学』 3月

堀江インカピロム・プリヤー 1991 「日本語とタイ語に会話行動における社会文化的相違」 『東京外国語大学日本語学科年報』 11

堀江インカピロム・プリヤー 1993 「謝罪の対照研究、日タイ対照研究」 『日本語学』 12-12

堀江インカピロム・プリヤー 1993 「『謝る』—日・タイの謝ることばと行動比較」 国立国語研究所方105研究報告集14

堀江インカピロム・プリヤー 1994 「タイ語の依頼表現」 『日本語学』 14-11

堀江インカピロム・プリヤー 1994 「各国語話者と日本人との誤解の事例—タイ語話者の場合—」 『在日外国人と日本人との言語行動的接触における相互「誤解」のメカニズム—日本語と英・タイ・朝・仏語の総合的対照研究』 国立国語研究所

堀江インカピロム・プリヤー 1995 『国立国語研究所報告日本語と外国語との対照研究III 『マイペンライ』—タイ人の言語行動を特徴づける言葉とその文化的背景についての考察その1—』 国立国語研究所

堀江プリヤー 岩崎勝一 1995 「日タイの言語・非言語行動にみられる意識構造の相違について」 『日本語教育学会春季大会予稿集』

堀江インカピロム・プリヤー 宇佐美まゆみ 1996 「対談：タイ語の敬語、タイ語と日本語の敬語使用の変化」 月刊『日本語』 96-12 アルク出版

堀江インカピロム・ブリーダー 宇佐美まゆみ 1997 「対談：タイ語の敬語、タイ語と日本語の敬語使用の変化」月刊『日本語』97-1 アルク出版

「ミ」

宮本マラシー 1988 「タイ語のあいづち」『日本語学』12

宮本マラシー 1989 「私と日本語・日本文化—異文化接触としての日本語学習」『日本語学』12月

宮本マラシー 1992 『新年の挨拶状における挨拶—日本人とタイの場合コミュニケーション研究1』大阪外国語大学

Chirasombutti, Voravudhi, 1995

Self-reference in Japanese and Thai: A Comparative Study, Ph.D.thesis, Australian National University

Chirasombutti, Voravudhi, 1996

"Self-Reference in Japanese and Thai", *Pan-Asiatic Linguistics*, vol. 5, Institute of Language and Culture for Rural Development, Mahidol University at Salaya

Chirasombutti, Voravudhi, 1997 -

"Some Observations on the History of Self-reference Pronouns in Japanese", *บูรพคดี*, จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

Iwasaki, Shoichi & Horie, Ingkaphirom Preeya, 1998

"The 'Northridge Earthquake Conversations: Conversational Patterns in Japanese and Thai and their Cultural Significance", *Discourse & Society*, London: Sage Publications

Wongkhomthong, Preeya, 1985

A Preliminary Investigation of Thai and Japanese Formulaic Expressions, Ph.D. thesis, University of California, Berkeley

การเรียนการสอนภาษา 日本語教育

ผกาทิพย์ สกุลครุ, 2524, "การศึกษาภาษาญี่ปุ่นในประเทศไทย-วิวัฒนาการและอนาคต", *วารสารไทย-ญี่ปุ่นศึกษา*, มหาวิทยาลัยธรรมศาสตร์

วรวิทย์ จิราสมบัติ, 2540, "ประวัติการเรียนการสอนภาษาญี่ปุ่นในจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย", *การประชุมเสนอผลงานวิจัยเฉลิมฉลอง 80 ปี แห่งการสถาปนาจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย*, จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

「ウ」

ウィスuttiカンヤ-ト-シーチャル-ン 1993 『タイ人学習者用初級日本語教科書研究』東京外国語大学

ウォラウット・チラソンバット 北村武士 1996 「タイにおける日本語教育」『日本語教育事情報告編世界の日本語教育』4 国際交流基金日本語国際センター

ウォラウット・チラソンバット 1996 「タイにおける日本語教師養成の

- 現状と課題」『日本語国際センター国際懇談会第8回会議議事録』 国際
交流基金日本語国際センター
- ウォラウト・チラソンバット 北村武士1998「昭和十年代タイ国日本語教育史年表」『国際交流基金バンコック日本語センター紀要』 1
- 「オ」
- 大西晴彦1979「タイにおける日本語教育」『日本語教育』 39
- 大西晴彦1981「タイ語の影響による日本語誤用例一語の選択・文法を中心として」『国際学友会日本語学校紀要』 5
- 小田切進1973「タマサート大学の日本語教育」『日本語教育』 24
- 「カ」
- カノックワン・ラオハブラナキット1995「日本語における「断り」—日本語教科書と実際の会話との比較—」『日本語教育』 87
- カノックワン・ラオハブラナキット1997「日本語学習に見られる断りの表現—日本語母語話者と比べて—」『世界の日本語教育』 7 国際交流基金日本語国際センター
- カンラヤニー・シタスワン1994「1992年を中心とするタイの日本語教育」『日本語教育事情 報告編世界の日本語教育』 1 国際交流基金日本語国際センター
- 「シ」
- シリラック・ダンワーニッチャクル『タイ語話者の日本語学習におけるアクセントの問題点』 筑波大学修士論文
- 「ス」
- 鈴木忍1963「発音指導とその問題点—タイ語国民を中心に—」『日本語教育』 2
- 鈴木忍1974「外国人からみた日本語—東南アジアについて—」覆刻文化庁国語シリーズV『外国語と日本語』 教育出版
- 鈴木忍1976「タイ人の発音に関する若干の考察」『国際学友会日本語学校紀要』 1
- 鈴木忍1978「タイ人の発音に関する若干の考察」『国際学友会日本語学校紀要』 2
- 鈴木忍1982「タイ人用日本語発音練習教材について」『国際学友会日本語学校紀要』 6
- スチャダ・P1988「私の日本語聴解の困難」『日本語教育』 64
- スチャダ・サッタヤポン1992「タイの風土・文化と日本語教育」『講座日本語と日本語教育大14巻日本語教授法(下)』 明治書院
- 「タ」
- 玉井乾介1979「タイの大学から」『日本語教育』 39
- タヌッ・スウェトラコム1995『タイ人日本語学習者にみられるプラグマティック・トランスファー「断り」行為を中心として』 名古屋大学修士論文

「ハ」

ハッカヤーン・チャトゥロン 1997 『タイ人学習者における日本語音律の習得研究』 大阪大学修士論文

パッターワン・ユーン 1997 『インターアクティブな教室活動の理論と実践—タイにおける日本語教授法の短所を補うために』 大阪外国語大学修士論文

「ホ」

堀江インカピロム・プリアー 1989 「タマサート大学における日本文化授業の試み」 『日本語教育』 76

「マ」

益子幸江・桐谷滋 1992 「日本語学習者におけるモーラ音素の習得について」 『日本語教育学会創立30年記念大会予稿集』

松井嘉和・北村武士 ウォラウット・チラソンパット 1999 『タイにおける日本語教育—その基盤と生成と発展—』 綿正社出版

「ム」

村崎恭子 1978 「アジア留学生の日本語のクセ」 『言語生活』 322

「ヤ」

安原順子 1991 「VT法による日本語の発音指導—タイ人の場合には— 吉田弥生寿夫監修 『日本語教育論集日本語教育の現場から』 学習研究社

山田浩三 1981 「日本語教育から見たタイ気質」 『国際学友会日本語学校』 5

「ユ」

ユーン・パッターワン 1996 「インターアクティブな教室活動—タイにおける日本語教育実践報告—」 『日本語・日本文化研究』 6 大阪外国語大学日本語講座

ユワック・リキッタナワット 1993 『タイ人学習者の日本語学習の問題—授受補助動詞「もらう」をめぐって』 名古屋大学修士論文

บรรณานุกรม 参考文献

ปราณี กุลละวณิชย์, เพียรศิริ วงศ์วิภาณนท์, 2527

บรรณานุกรมไวยากรณ์และเสียงภาษาไทย, จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

ウォラウット・チラソンバット 北村武士

1996 「タイにおける日本語教育」 『日本語教育事情報告編世界の日本語教育』 4 国際交流基金日本語国際センター

国立国語研究所

2000 『白書、広告紙における外来語の実体本編』 国立国語研究所
田中寛

1997 「日タイ語対照研究序説—その方法論・経緯・展望につい

て—」 『言語教育フォーラム』 創刊号 大東文化大学語学教育研究所

松井嘉和・北村武士 ウォラウット・チラソンバット

1999 『タイにおける日本語教育—その基盤と生成と発展—』 綿正社出版

Sonsri, Sida, 1995

Research Works on the Japanese Language Pubished and/or Written in Thailand,
Thammasat University

